

令和4年（2022年）

第8回大阪狭山市教育委員会

定例会議議事録

令和4年（2022年）8月25日 開催

大阪狭山市教育委員会

第8回大阪狭山市教育委員会定例会議議事録

令和4年(2022年)8月25日(木)

午前10時00分 開議

市役所3階 委員会室

出席委員(5名)

竹谷	好弘	教育長
山田	順久	教育長職務代理者
田川	宜子	委員
河合	洋次	委員
井上	寿美	委員

出席事務局の職員

山田	裕洋	教育部長
寺下	憲志	教育監
山本	泰士	こども政策部長
浜口	亮	教育部次長兼教育総務グループ課長
塚本	浩二	こども政策部次長兼保育・教育グループ課長
高橋	伸幸	社会教育グループ課長
寺本	芳之	歴史文化グループ課長
井上	和久	子育て支援グループ課長
岩間	かおり	放課後こども支援グループ課長
荒川	郁代	学校教育グループ参事
古川	誠	学校教育グループ参事

書記

安達	奈津芽	教育総務グループ主幹
平井	大地	教育総務グループ主任

議事日程

開会

教育長活動報告

議事

- 日程第1 議案第15号 大阪狭山市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則について
- 日程第2 議案第16号 令和5年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定について
- 日程第3 報告第17号 令和4年度全国学力・学習状況調査における結果と分析の概要について
- 日程第4 報告第18号 令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第6号教育委員会関係）について

閉会

○各グループの報告事項

教育部長（山田裕洋）

それでは、定刻になりましたので、第8回教育委員会定例会議のほう始めさせていただきますと思います。

教育長、よろしく願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

改めまして、おはようございます。

令和4年第8回の教育委員会定例会議を開会いたします。

本日の出席委員数は定足数に達しておりますので、会議は成立いたしておりますことをご報告いたします。

議事録の署名委員は、会議規則によりまして、山田教育長職務代理者と井上委員を指名いたします。よろしく願います。

教育長の活動報告についてご説明をいたします。

活動報告書を見ていただきまして、7月29日、大阪府都市教育長協議会夏季研修会ということで、毎年夏に研修会が2日間にわたり行われますけれども、1日目の7月29日、部活動の移行について、先進地の事例などを中心に研修が行われました。

8月2日、大谷さやまこども園公開保育を視察ということで、毎年輪番で公開保育をしております、今年は大谷さやまこども園ということで、市内の公立、民間こども園、幼稚園などの先生方が保育の様子などを視察いたしました。

8月3日、タイムリー研修は、市内の教職員の研修の中で最大の研修ということで3年ぶりに対面でSAYAKAホールで行われました。今年のテーマはいじめ問題が取り上げられました。

8月5日、狭山中学校平和学習発表会です。初めての狭山中学校での取組でした。生徒たち手作りの、修学旅行の学習成果の発表ということで、外部の方に対しても、下級生に対しても、オンライン・ICTを活用して修学旅行の様子

を発表しているところを見学させていただきました。

8月8日から8月12日は、夏の理事者との意見交換会と書いておりますけれども、これ、毎年この時期、来年度の各部の取組方針などを確認する会議でございまして、理事者として出席をしております。

以上、活動報告でございます。

それでは、早速ですけれども、議事に移りたいと思います。

本日の議案ですけれども、日程第1、議案第15号、大阪狭山市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

それでは、日程第1、議案第15号、大阪狭山市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則についてをご説明させていただきます。

お手元でございます資料は、1ページから3ページまででございます。

職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例等の改正についての一部が令和4年4月1日に改正され、職員のさらなる働き方改革の推進を図り、より柔軟な勤務時間管理を可能とするため、いわゆる超勤4項目の区分に当たる業務について、公務運営上必要な場合に限り勤務時間の割り振りを可能とする適用範囲が拡大されました。また、出生サポート休暇が導入されたことに伴い、不妊治療休暇が削除されるとともに、その適用範囲が臨時的任用職員にも拡大されることとなりました。

それに伴いまして、大阪狭山市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部について所要の改正を行うものでご

ざいます。

資料の3ページ、新旧対照表でご説明させていただきます。

第3条の見出しについて、「引率業務」を「引率業務等」とし、内容に「生徒を引率する業務及び条例第11条に規定する業務」を加えました。また、第5条の第18条「不妊治療休暇」を削除し、第19条「臨時的任用職員の休暇」を第18条に繰り上げています。

附則といたしまして、この規則は公布の日から施行し、令和4年4月1日から適用するものがございます。

以上、非常に簡単な説明でございますが、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。

はい、山田委員。

教育委員（山田順久）

条例の第11条に規定する業務というのはどんな業務か、ちょっと確認させていただきたいんです。

教育長（竹谷好弘）

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

ここが超勤4項目ということで、校外実習であったり、修学旅行、それから職員会議、非常災害の対応という内容になっております。

教育長（竹谷好弘）

よろしいでしょうか。

ほかに何かご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。

ないようでございますので、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第1、議案第15号、大阪狭山市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部を改正する規則については承認されました。

続きまして、日程第2、議案第16号、令和5年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

こども政策部次長兼保育・教育グループ課長（塚本浩二）

議案第16号、令和5年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定についてご説明させていただきます。

まず、資料の5ページをお願いいたします。

市立幼稚園及び市立こども園の募集人員につきましては、条例及び規則により定員の範囲内で年齢ごとに教育委員会が定めることとなっております。

5ページの表につきましては、各幼稚園・こども園ごとに各年齢の定員と募集予定人員を記載したものです。

まず、3歳児につきましては、各園との定員と同数の募集人員を定めることとしております。

次に、4歳児と5歳児につきましては、定員の数から、下段の参考の表にあります令和4年8月1日現在の3歳児と4歳児の人数をそれぞれ差し引いた数を募集人員としております。

なお、募集要項につきましては、9月1日から各園のほか、ぽっぽえんやUPっぷなどで配布いたしまして、受付期間は、10月3日月曜日から10月11日火曜日までとしております。

また、来年度入園予定のお子様や保護者の方を対象にした公開保育につきましては、9月5日月曜日が東野幼稚園、6日火曜日が半田幼稚園、7日水曜日がこども園、8日木曜日が東幼稚園で行う予定にしております。

以上、簡単な説明でございますが、ご審議のほどよろしく願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。ありませんか。

ないようでございますので、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第2、議案第16号、令和5年度市立幼稚園・こども園募集人員の設定については承認されました。

続きまして、日程第3、報告第17号、令和4年度全国学力学習状況調査における結果と分析の概要についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

それでは、日程第3、報告第17号、令和4年度全国学力学習状況調査における結果と分析の概要についてご説明させていただきます。

着座にて失礼いたします。

お手元に別添の資料をお配りしておりますので、こちらをご覧ください。

令和4年4月19日火曜日に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施された状況調査の結果分析となっております。

1ページから3ページにかけて調査の概要や調査内容、調査結果の取扱い、分析方法について記載しております。

4ページをご覧ください。

4ページから6ページでは、小学校の学力調査の結果概要について記載しております。

続きまして、7ページから9ページにつきましては、中学校の学力調査の結果概要について記載しております。

小学校では、国語、算数ともにやや全国平均

を上回る結果となっております。一方で、理科は、やや全国平均を下回っております。

中学校では、国語で全国平均を上回っており、数学、理科は全国平均とほぼ同じ値でした。

続きまして、10ページをご覧ください。

10ページからは、質問紙調査の中から幾つかの項目について結果を掲載しております。

①の質問からは、本市の児童生徒が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりする点で、全国平均と比較して良好な状況であることが分かりました。

一方で、「前の学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問については、全国平均を下回っており、課題が残る結果となっております。

11ページにつきましては、授業以外の項目についての質問となっております。

①の「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか」の質問について、肯定的な回答をした児童生徒が全国と比較しても良好な状況であり、集団づくりを進めていくことにより、安心できる環境の中で失敗を恐れず挑戦しているというふうに考えられます。

続きまして、12ページをご覧ください。

こちらでは、質問紙調査と学力調査の平均点をクロス集計いたしまして、その関連が認められた項目を3つお示ししております。

例えば、毎日同じぐらいの時間に寝ていると回答している子供ほど平均正答率が高く、全くしていないという子供ほど平均正答率が思わしくなかったというような、一定、質問紙調査と学力調査の相関があるのではないかとと思われるような内容を拾い出しております。

これらの結果については、市のホームページ上で公開する予定にしております、13ページ

の下段には、家庭に向けたメッセージも掲載しております。

各学校の分析については、明日の校長会で依頼し、調査の分析結果と今後の取組の方策をホームページに掲載する予定でございます。

こちらの結果分析を有効に活用いたしまして、今後の学力向上につなげてまいりたいと考えております。

以上、簡単な説明ではございますが、ご報告させていただきます。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。

河合委員。

教育委員（河合洋次）

理科って去年もありましたでしょうか。

教育長（竹谷好弘）

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

理科につきましては、3年ごとの実施になっておりますので、昨年度はございませんでした。

教育委員（河合洋次）

そうすると、昨年あったのは数学・算数と国語だけ実施ですね。その2教科については、去年と比べてどうですか。改善は見られているのでしょうか。

教育長（竹谷好弘）

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

小学校のほうでは、ほぼ同じかやや下がる傾向がありましたけれども、中学校については、特に国語のほうでよい結果が出ている状況でございます。

教育委員（河合洋次）

私、去年国語が平均点下回っていて、それでちょっと心配していて、中学生のゲームの時間が去年すごく長かった覚えがあります。今年見

たら、国語はすごく改善しているなと思っているので。ただ、まだ課題とかあるみたいなので、せっかくテストで課題見つけたんやったら、これ、今後の課題を克服するように取り組んでいただきたいという思いです。

以上です。

教育長（竹谷好弘）

ほかに。

山田委員。

教育委員（山田順久）

国語がなかなか今まで、結果として表れにくい教科であったということですがけれども、今も説明あったように、中学校のほうでも国語は随分よくなっているということで、すごくいろいろな取組をされてきたんじゃないかなと思っています。

それが、恐らく中学校や小学校においても、数学とか算数、理科においても、その国語の読解力のついたところがほかの教科にも影響してくるんじゃないかなと思いますので、今の取組をしっかりと続けていただいて、より努力していただけたらと思います。

それと、学校による違いであるとか、学級による違い、もしくは学年による違いというのは当然あるかと思っておりますので、そこらあたりにつきましては、一昔前に効果のある学校というふうな言われ方よくしたと思うんですけれども、そういうふうな視点で十分分析した上で、各学校や、各学年・学級のほうにご指導いただけたらなと思っていますのでよろしくお願いします。

それと、質問なんですけれども、11ページの2番のところのテレビゲーム。スマホとかゲームのところ、中学校でいうとこれはすごく改善されているんですね。時間が少なくなって、すごくいい結果が出ているんですけれども、どういった取組をされたのか、ちょっと教えてもらってもいいですか。

教育長（竹谷好弘）

はい。

学校教育グループ参事（古川 誠）

日々、計画を立てて学習するということの指導であったりとか、この間、タブレット端末を持ち帰っての学習なども含まれる中で、家庭でのルールづくりというところをしっかりと指導してきた結果だと捉えています。

また、外部からの講師を呼んでの研修会や、講演会ですね。子供たちに対してのお話であったりとかという取組を継続して行ってきた成果だと考えております。

教育委員（山田順久）

なかなか難しいと思うんですけども、保護者の方々と連携しながら、取組を進めていってもらえたらなと思っております。

教育長（竹谷好弘）

井上委員。

教育委員（井上寿美）

令和3年と令和4年を比較するとき、やはり令和3年はコロナ禍で学びの形態が随分異なっていたということがあると思うんです。子供たちの家庭生活の様子も。ですので、もちろんいろんな取組がなされてゲームの時間が改善しているというのも多分そうだろうと思いつつも、令和3年って、結局子供たちが外にあまり出て友達と交流することができなくてゲームの時間が増えてしまっているというふうな解釈ができるんじゃないだろうかとか、10ページの前の学年とか言われたときに、前の学年って、あのコロナの中で学んでいるよねというふうに思うと、どうしてもふだんの学校教育とは違う状況だったのかなというふうに私は理解していたんですが、今のご説明の中では、そういうコロナの影響を勘案してというふうなお話が出てはこなかったんですが、そのあたりのところはどのように分析されているのかお聞かせ願えたら

と思います。

教育長（竹谷好弘）

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

今、ご指摘いただいた内容についても、こちらのほうでも考える部分もあったんですけども、授業の内容についてはこれまでと変わりなく、感染対策を行いながらでしたけれども同じように進めることができていましたので、それぞれの学校の取組が結果として現れてきているのではないかというふうに捉えています。コロナが大きな影響があって変化したという捉え方は、今の段階ではないです。

教育長（竹谷好弘）

よろしいでしょうか。ほかに。

田川委員。

教育委員（田川宜子）

すみません。

国語が伸びているというデータが出ているんですけども、令和3年度と令和4年度で、令和3年度を踏まえて令和4年度で変えたというか、データが伸びる状態、国語が定着する状態にするために変えた取組とかを、具体的にどんなことされたのかというのをちょっと聞きたいです。伸びているというのは、どういうふうに取り組を変えて伸びたのかというところをちょっと聞きたいなと思うんですが。

教育長（竹谷好弘）

担当。

学校教育グループ参事（古川 誠）

やっぱり国語の力というのは読む力ということが非常に大きいというふうに考えてまして、特に音読というところを授業の中で取り組むように、各学校に仕掛けていきました。少しのところでも、自分の書いた文章を声に出して読むことで、例えば、主語・述語のねじれなどに自分で気づけるような、子供たちが育ってき

ているというのは学校からの報告で聞いていますので、この音読が一つの成果の現れではないかというふうに、今、分析しているところです。

教育長（竹谷好弘）

よろしいでしょうか。

ほかに何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。よろしいですか。

ないようでございますので、本案を原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第3、報告第17号、令和4年度全国学力学習状況調査における結果と分析の概要については承認されました。

続きまして、日程第4、報告第18号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第6号教育委員会関係）についてを議題といたします。

担当に説明を求めます。

担当。

教育部次長兼教育総務グループ課長（浜口亮）

それでは、日程第4、報告第18号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第6号教育委員会関係）についてご説明させていただきます。

本件につきましては、予算関連所属が複数ございますので、教育総務グループから一括してご説明させていただきます。

資料は、7ページから10ページとなっております。まず、資料8ページの債務負担行為補正でございます。

I C T活用推進事業につきまして、学校教職員の校務用端末等につきまして、令和5年度中に更新を行うものでございますが、資材調達の都合等を考慮し、実施可能なスケジュールとするため、令和4年度から令和10年度まで、限度額といたしまして1億6,835万6,000円を設定す

るものでございます。

続きまして、歳入でございます。

資料の9ページをご覧ください。

国庫支出金の民生費国庫補助金、子ども・子育て支援交付金は、放課後児童会に勤務をする支援員等の処遇改善に要する交付金で98万1,000円。子ども・子育て支援事業費補助金40万円。教育費国庫補助金の公立学校情報機器整備費補助金は、G I G Aスクール構想の実現に向け、学校におけるI C T環境の高度化の推進に係る必要な資機材の購入に係る補助金といたしまして209万1,000円。府支出金の民生費補助金、子ども・子育て支援交付金は、国庫補助金同様、放課後児童会に勤務する支援員等の処遇改善に要する交付金といたしまして98万1,000円。これら、いずれも増額するもので、合計445万3,000円の増額補正でございます。

続きまして、歳出でございます。

資料の10ページをお願いいたします。

まず、民生費では、児童福祉費、児童手当支給事業の子育て世帯への臨時特別給付金事務費国庫補助金超過交付返還金につきまして2万7,000円の計上。放課後児童会に勤務する支援員等の処遇改善に係る経費といたしまして、放課後児童会事業の放課後児童会運營業務委託料118万2,000円。民間放課後児童会運營業務費補助金19万8,000円をそれぞれ増額するものでございます。

次に、教育費では、教育総務費、I C T活用推進事業の情報機器等借上料につきまして、債務負担行為補正でもご説明いたしましたとおり、学校教職員の校務端末等の借上料につきまして、令和4年度分を485万8,000円減額するものでございます。小学校費、コンピューター設置事業の消耗品費につきまして98万円。情報機器等購入費につきまして192万円。中学校費、コンピューター設置事業の消耗費につきまして42万円。

情報機器等購入費につきまして144万円をいづれも増額するものでございますが、これらはいづれもG I G Aスクール構想の実現に向け、学校におけるI C T環境の高度化に資するための物品を、国庫補助金を活用して購入するための経費でございます。

社会教育費、文化財保護推進事業の文化財保護事業費補助金につきましては、本年5月に市指定文化財に登録した茱萸木地区所有の木造阿弥陀如来座像の修理に係る補助金といたしまして97万7,000円を計上するもので、歳出合計で228万6,000円の増額を行うものでございます。

私からの説明は以上でございます。

ご質問等ございましたら、各担当のグループ課長のほうから詳細についてご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育長（竹谷好弘）

ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございませんでしょうか。

中身の詳細確認等ありましたら。

河合委員、どうぞ。

教育委員（河合洋次）

情報機器等購入費って、これ、タブレットをかうんですか。

教育長（竹谷好弘）

担当、お願いします。

教育部次長兼教育総務グループ課長（浜口亮）

消耗品費につきましては、校外学習用のタブレットのS I Mカードを予定しております。

あと、備品のほうにつきましては、いわゆる学校で使う大型提示装置の購入ということで予定しております。

教育長（竹谷好弘）

具体的には、もうちょっと、校外学習行ったときにどういう活用するためのものでしょうか。

担当。

教育部次長兼教育総務グループ課長（浜口亮）

タブレットで、通信を行えるようにということで、W i - F i環境が整備されていない校庭なども含めまして、校外でオンライン学習ができるようにということで、S I Mカードを購入させていただくということでございます。

以上でございます。

教育長（竹谷好弘）

よろしいでしょうか。

ほかに内容確認等ございましたら、よろしいでしょうか。

ほかにないようでございますので、本案を原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議なしと認めます。

日程第4、報告第18号、令和4年度（2022年度）大阪狭山市一般会計補正予算（第6号教育委員会関係）については承認されました。

本日の議案は以上でございます。

これもちまして、教育委員会定例会議を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、署名する。

教育委員会教育長

教育委員会教育長職務代理者

教育委員会 委員

教育委員会事務局職員